

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和5年9月26日(2023.9.26)

【公開番号】特開2023-59883(P2023-59883A)  
 【公開日】令和5年4月27日(2023.4.27)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-079  
 【出願番号】特願2023-15476(P2023-15476)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 1 3 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

H 0 4 N 1 9 / 7 0 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

H 0 4 N 1 9 / 1 7 6 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 N 1 9 / 1 3

H 0 4 N 1 9 / 7 0

H 0 4 N 1 9 / 1 7 6

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月14日(2023.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビデオデコーダによって実施されるデコーディングの方法であって、

シンタックス要素のピンを含むビットストリームを受信するステップであって、前記シンタックス要素は符号化された画像内の変換スキップブロックの領域の残差に対応し、前記変換スキップブロックが、ブロック差分パルス符号変調(BDPCM)で符号化され、かつ複数の領域に分割される、ステップ、ステップと、

前記領域のシンタックス要素のいくつかの前記ピンのそれぞれについてコンテキストモデルを決定するためにコンテキストモデリングを行うステップであって、コンテキスト符号化されるシンタックス要素の前記ピンの数は、前記領域に設定されたコンテキスト符号化されるピンの最大数を超えず、前記コンテキスト符号化されるピンの最大数が、しきい値と前記領域内の量子化残差の数との間の比較に基づいて決定される、ステップと、

シンタックス要素の前記いくつかの前記ピンを、前記決定されたコンテキストモデルに基づいて復号するステップと、

を含む、方法。

【請求項2】

コンテキスト符号化されたシンタックス要素の前記ピンの前記数は、前記変換スキップブロックの前記領域のシンタックス要素の前記ピンの総数以下である、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記変換スキップブロックの前記領域のコンテキスト符号化されたピンの前記最大数は  $B \times A$  であり、ここで、Aは前記領域内の量子化残差の数であり、BはAによって示される前記領域内の量子化残差の前記数に基づく正の数である、

請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記変換スキップブロックの前記領域に対してコンテキスト符号化されていないシンタ

10

20

30

40

50

ックス要素の前記ピンの残りの総数の前記符号化されたビットを、等確率モデルに基づいて復号するステップ

をさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

Bは整数である、  
請求項3に記載の方法。

【請求項6】

Bは分数である、  
請求項3に記載の方法。

【請求項7】

BはAに従って設定される、  
請求項3に記載の方法。

【請求項8】

前記変換スキップブロックは前記領域のみを含み、Aは前記変換スキップブロックの $W \times H$ に等しく、ここで、Wは前記変換スキップブロックの幅であり、Hは前記変換スキップブロックの高さである、  
請求項3に記載の方法。

【請求項9】

前記変換スキップブロックは、前記領域を含む複数の領域に分割され、  
前記変換スキップブロックの前記複数の領域のそれぞれのコンテキスト符号化されたピンの前記最大数は $B \times A$ であり、ここで、Bは正の数であり、Aは、前記複数の領域の前記それぞれにおける量子化残差の数である、  
請求項1に記載の方法。

【請求項10】

請求項1から9のうちいずれか一項に記載の方法を行うように構成されたビデオ復号装置。

【請求項11】

ビデオ復号装置のプロセッサに、請求項1から9のうちいずれか一項に記載の方法を実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項12】

ビデオエンコーダによって実施されるエンコーディングの方法であって、  
符号化された画像内の変換スキップブロックの領域の残差に対応するシンタックス要素のいくつかのピンのそれぞれについてコンテキストモデルを決定するためにコンテキストモデリングを行うステップであって、前記変換スキップブロックが、ブロック差分パルス符号変調(BDPCM)で符号化され、かつ複数の領域に分割され、コンテキスト符号化されるシンタックス要素の前記ピンの数は、前記領域に設定されたコンテキスト符号化されるピンの最大数を超えず、前記コンテキスト符号化されるピンの最大数が、しきい値と前記領域内の量子化残差の数との間の比較に基づいて決定される、ステップと、  
前記決定されたコンテキストモデルに基づいて、シンタックス要素の前記ピンの符号化されたビットを含むビットストリームを生成するステップと  
を含む、方法。

10

20

30

40

50